

# Microsoft 365の 包括的な保護



## 主なメリット

- 最も重要なM365データの保護
- 飛躍的に高速なバックアップ
- 高速できめ細かいバックアップ
- 完全な可視化のためのグローバル検索
- データがどこにあっても柔軟に保護

M365の保護は、ユーザー単位のライセンスをご使用いただくことで、他のライセンスと比較して約50% TCOを削減することができます。

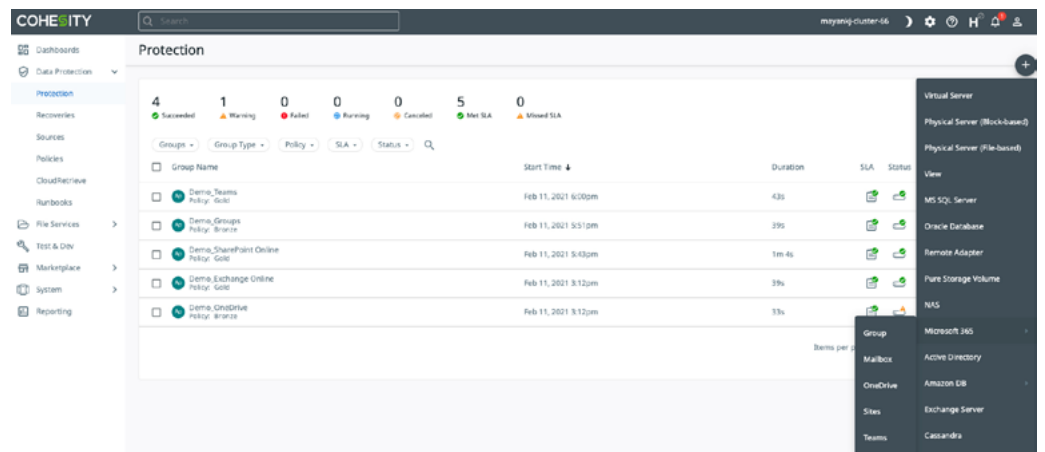
ユーザーがマイクロソフトの生産性アプリケーションをオンラインで使用する機会が増えるにつれ、企業のITチームはデータ管理と保護の戦略を見直す必要に迫られています。Microsoft 365は、アドオンのデータ保護ソリューションをネイティブに提供していますが、企業がすべてのコンプライアンス目標を達成するために必要なエンタープライズグレードの機能を提供しているとは言えません。特に、短期および長期のデータ保持要件を満たすために必要な機能が提供されていません。

Microsoft 365のデータを保護することはユーザーの責任となっているので、CohesityはMicrosoft 365 Suiteのための包括的なエンタープライズクラスのバックアップとデータ管理を提供します。Cohesityは、Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams、Groupsを、オンプレミスで、Microsoft Azureで、またはCohesityのBackup as a Service (BaaS) でシンプルに効率よく保護します。Cohesityは、バックアップとリカバリのプロセスとコストをコントロールしながら、コンプライアンスを満たし、リスクを軽減し、人的エラーやランサムウェアなどの脅威からオンプレミスやクラウドのデータを保護することで、ITチームを支援します。

## ダメージを抑え、データ損失のシナリオから素早く回復

Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams、Groupsのネイティブリカバリ機能は非常に限られています。例えば、アイテムレベルのリカバリでは、データ保持は保証されません。データを保持しなければ内部からの脅威にさらされ、データを保持すればコストとリスクを増大させます。また、「削除済みアイテム」フォルダは、ユーザーが容量を確保するために頻繁にフォルダを空にしてしまうので、信頼性の低い保存方法となっています。

「回復可能なアイテム」フォルダは、Microsoft 365のネイティブリカバリで「削除済みアイテム」フォルダから削除されたコンテンツを保存する第2段階のごみ箱として機能しますが、デフォルトの保存期間は14日間しかありません。ネイティブのExchange Onlineでのメールボックスの復元も、削除されたメールボックスとコンテンツが自動的に30日間の保持となっているため、データの保存には不十分です。IT部門は、訴訟、M&A、従業員の離職などで保留となった非アクティブなデータやメールボックスを管理するために必要な費用と時間を考慮しておく必要があります。



## Microsoft 365のクラウド保護

ミッションクリティカルなM365データのクラウドからクラウドへのバックアップとリカバリサービスで、CAPEXを削減します。CohesityのBackup as a Serviceは、クラウドネイティブなアプリケーションに対し、シンプルかつ柔軟で、安全なエンタープライズクラスの保護を提供します。そしてコストを抑えながらも厳しいSLAを満たすことができます。サインアップして、接続すれば、保護することができ、クラウドデータの心配をする必要がなくなります。

## CohesityでMicrosoft 365のバックアップとデータ管理の改善

何十年の間、規制対象の業界や政府機関は、厳格なデジタル情報ガバナンスポリシーに従ってきました。現在、世界中の企業は、M&Aを容易にし、法的手続きに情報を提供し、事業運営の透明性を提供するように設計された義務付けられたデータポリシーを遵守する必要があります。Cohesityの包括的なバックアップとデータ管理機能は、Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams、Groupsを利用している世界中の企業に、これらの分野で大きなメリットをもたらします：

- **シンプル** – M365データを自動検出して自動保護します。メールボックス、グループ、ファイル、フォルダなど、M365のデータを自動検出し、自動保護することで、データ保持やコンプライアンスに対応します。
- **シームレス** – メールボックス、ファイル、フォルダのコンテキストで、復旧ワークフローにアクセスできます。Cohesityはメタデータをインデックス化し、グローバル検索を容易にし、内部および外部の脅威から迅速に回復できるようにします。
- **自動化** – 特定のSLAを持つ自動化されたポリシーを作成することで、データ保持ルールを設定し、増え続けるM365データを保護しながら時間を節約することができます。
- **柔軟性** – 固有のビジネス要件を満たすため、バックアップ保持期間のカスタマイズに幅広いリストアオプションを備え、柔軟で拡張性のあるポリシーをサポートします。ルールには、目標復旧時間と目標復旧時点 (RTO/RPO) を含めることができます。
- **効率性** – M365のユーザーアカウントに追加された新規メールボックスやファイル、フォルダを自動的に保護することができます。文字列ベースの検索で、特定の使用名のアカウントに関連付けられたメールボックスやオブジェクトを簡単に保護できます。
- **拡張性** – 元の場所または別の場所に (クラウドを含む) オブジェクトをリストアし、ネイティブなクラウド連携でExchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams、Groupsのディザスタリカバリの代替手段とすることができます。
- **セキュア** – きめ細かいインスタントリカバリと、さまざまなメタデータフィールドに従って特定の電子メールやファイルを検索する機能により、電子情報開示手続きをシンプルにし、サイバー攻撃に対抗します。バックアップとリカバリプロセスを可視化することで、データガバナンスと監視を強化します。
- **ガバナンス** – AIを活用したガバナンスと脅威検知で機密データを保護しながら、コンプライアンス要件を満たし、ランサムウェアなどのサイバー脅威に迅速に対応し、復旧することができます。

半数以上の企業がMicrosoft 365を利用しており、従来のエンタープライズアプリケーションスイートはオンプレミスからクラウドへと移行しています。半数以上の企業がMicrosoft 365を利用しており、従来のエンタープライズアプリケーションスイートはオンプレミスからクラウドへと移行しています。M365のデータを効率的に保護することで、数多くの潜在的なデータ損失シナリオに備えることができます。Cohesityが提供するMicrosoft 365の劇的に高速なバックアップと迅速できめ細かなリカバリの詳細については、こちらをご覧ください。

詳細はこちら: [Cohesity.com.jp](https://cohesity.com/jp)

# COHESITY

© 2022 Cohesity, Inc. All rights reserved.

Cohesity、Cohesityのロゴ、SnapTree、SpanFS、DataPlatform、DataProtect、Helios、およびその他のCohesityのマークは、米国および/または海外におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各企業の商標である可能性があります。本資料は、(a) Cohesityと弊社の事業および製品に関する情報を提供することを目的としています。(b) 本資料が作成された時点では、真実かつ正確であると考えられていますが、予告なく変更されることがあります。(c) 本資料は、「現状有姿」で提供されます。Cohesityは、いかなる種類の明示的または黙示的な条件、表明、保証も放棄します。